

萩ジオパーク推協だより

2018年9月27日 No. 43

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767
e-mail : geo@cityhagi.lg.jp
HP : <http://www.cityhagi.lg.jp/site/hagigeo/>

発行 : 萩ジオパーク構想推進協議会
事務局 : 萩市ジオパーク推進課
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

念願の萩ジオパーク誕生！

9/20 (木)

～本当のスタートはこれから～

9月20日(木)午後、東京都内において、日本ジオパーク委員会(JGC)が開催され、萩ジオパークの日本ジオパークネットワーク(JGN)への加盟が認められました。

会長である藤道萩市長が午後4時20分に予定されていたJGCからの速報を受け、その模様は萩ケーブルネットワークによって、生中継されました。市役所ロビーで結果報告会を待っていた皆さんと視聴、「認定されました」の言に歓声が沸き上がりました。

関係者や来庁者、市職員が会した結果報告会では、改めて会長から認定の結果報告と活動いただいた関係者への謝辞、これからの抱負が語られました。懸垂幕披露の後、くす玉を藤道会長、横山萩市議会議長、花田阿武町長、協議会設立当初から関わってこられた木村副会長、萩ジオプランナーとして活動している斉藤氏、松井氏の6人で割り、萩ジオパークの誕生を祝いました。

日本ジオパーク認定証は、10月6日(土)から北海道で開催される第9回日本ジオパーク全国大会アポイ岳大会開会式において受け取ります。

今後、10月下旬に協議会臨時総会を開催、11月中旬から来年2月にかけて、「萩ジオフェア」と称した記念行事(シンポジウム等)を展開する予定です。

【萩ジオパーク構想推進協議会 会長 藤道健二 萩市長 のコメント】

本日、日本ジオパーク委員会において、萩ジオパークが日本ジオパークとして認定されました。これは、市民の皆様をはじめ関係する阿武町や山口市の皆様と、誠実かつ着実にジオパークの取組を進めたことが評価されたものであり、この喜びを関わってこられた全ての皆様と分かち合いたく存じます。

これまでご尽力いただいた関係各位に改めて感謝の意を表しますとともに、日本ジオパークネットワークの一員となったことを契機に、ジオツーリズムの取組など大地の遺産をいかした活動をこれまで以上に展開し、地球の視点で「萩らしさが見える・伝わる」持続的な地域づくりに取り組んでまいります。



(結果の報告を受ける藤道会長)



(代表によるくす玉割り)

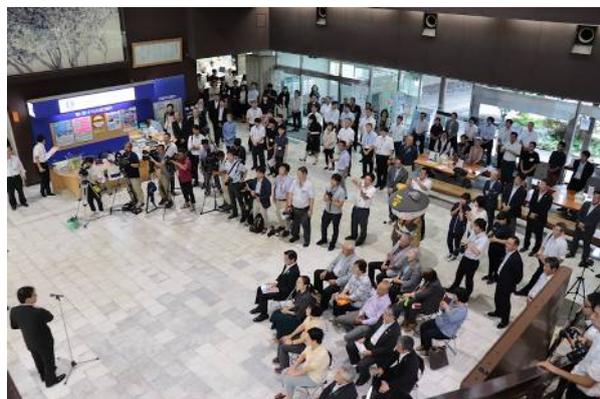
日本ジオパーク委員会からの審査結果は下記の通りです。

〈新規認定〉

萩ジオパーク

3つの時代（白亜紀から古第三紀、新第三紀中新世、第四紀）のマグマ活動によって作られた地形と、それで育まれた文化や歴史を含む、大地と人との暮らしの結びつきを知ることができる地域である。阿武町および山口市阿東地域が加わったことで、ジオパーク全体のストーリーのつながりが良くなった。また、エリア内各所において見どころおよびストーリーを活用する様々な活動が活発に行われてきており、ジオパーク活動に興味を示し仲間となるような人たちが着実に増えてきた。ジオパークの可視化や地域全体を通じた活動の充実という課題はあるものの、関係者のジオパークとネットワークに関する理解や活動の質の高さがみてとれ、今後のネットワークへの貢献も期待できる。

以上のことから日本ジオパークとして認定する。



(萩市役所ホールでの結果報告会)

萩ジオアカデミー第2回を開催 「大地を知ろう。大地に触れよう。」

「大地を知ろう。大地に触れよう。」をテーマにした連続講座、萩ジオアカデミー。第2回目「阿武火山群① 笠山」を9月15日（土）に開催しました。講師には阿武火山群を研究されている佐賀大学の角縁先生をお呼びして、午前中は座学、午後には笠山の虎ヶ崎や山頂火口周辺を歩きました。萩はハワイのようにマグマがわき上がるホットスポットだ、というお話には驚きの声上がるなど、阿武火山群について改めて学ぶ良い機会となりました。昼食は「つばきの館」の特製弁当。笠山の恵みがふんだんに盛り込まれた豪華なお弁当にお腹も大満足でした。



(溶岩のでき方の説明を聞く参加者)



(溶岩流の縁に立ち説明を聞く参加者)

ブラタモリ気分で、萩を巡ってみました！ 9/8 (土) 萩の魅力再発見ツアー ～萩はなぜ世界遺産になった？～

9月8日(土)、「萩の魅力再発見ツアー」として、NHK「ブラタモリ #106 萩」(2018年5月26日放送)で取り上げられた内容を、実際にタモリさんを案内した3人と一緒に巡りました。

スタートは萩の城下町から。清水萩博物館長の案内で、古地図と地形図を比べながら、昔の人の上手な土地利用に感心しながら歩きました。その後、旧藩校明倫館でズブズブだった三角州を実感。足元に敷き詰められた石の数々を見た後、笠山へ。

笠山では、白井専門員の案内で、城下町の足元を支えた安山岩の石切り場跡へ。噴火したマグマが流れ固まるときにできた「石の目」に沿って切り出した石工の知恵を体感し、その噴火をおこした笠山山頂では、たった1回の噴火でできた溶岩台地火山群がもたらす独特な地形とその恩恵を知り、海中の火山地形が育んだ海産物の昼食を堪能しました。

さらに、萩反射炉に移動して、道迫学芸員による解説で、その加工しやすい安山岩を使って建設した反射炉の試行錯誤の物語など、明治維新の原動力となった「長州の熱い心意気」を学びました。

最後は、堀内伝建地区へ。世界遺産となる町並み・町割を守った立役者「夏みかん」の畑を見学後は、美味しい夏みかんのジュースとゼリーを味わいました。

市内外から参加された皆さんの反応は上々。「萩を知っていたつもりだけど新たな切り口で楽しめた。」という声が聞かれました。これから、「萩ジオパーク」をより多くの方に楽しめるコースとして定番化できるように考えています。

(写真上より：古地図と地形図を比べて地形を生かした人の暮らしを確認
即興の手書き地図で説明
石切り場ではドキドキ、わくわく。
反射炉を造った人々の熱量も伝わってきそう！)



(報告：萩まちじゅう博物館推進員 山本明日美)

ジオ・カメラ散歩

【大島ドローン撮影】9/22 (土)

大島の広大で平坦な溶岩台地上に広がる耕作地のドローン撮影を行いました。

阿武・萩自然史研究会では、子どもたちに萩の大地の魅力を伝えるためジオパーク活動応援事業補助金の交付を受け、学習教材の作成などに取り組んでいます。



参加者募集中！！

萩・食の祭典（萩食談）で『ジオの食卓～地球を食べる食堂～』！！

大地と人とのつながりを「食」で楽しむ『ジオの食卓～地球を食べる食堂～』が、明治維新150年祭の催しの一つ「萩・食の祭典」で繰り広げられます。

メインゲストにタレントの勝俣州和さんをお招きし、我々が萩ジオパーク専門員の白井孝明と「食」を題材としたトークセッション。そこに、地元生産者や須佐の「梅乃葉」代表の福島淳也さんとのコラボにより、地球活動と生産者・料理人の知恵や工夫が織りなす「だから美味しい」を堪能します。萩ジオパークの強みともされる「食」の切り口から、萩の大地の恩恵を感じてください！



メインスピーカーは勝俣さんと白井くん。
意外な共通点は〇〇県出身？

日時：平成30年10月27日（土）午後3時～4時30分

会場：口福の馳走屋 梅乃葉（萩市須佐5010-1）

料理：口福の馳走屋 梅乃葉代表の福島淳也さんによる逸品の数々を堪能します。

参加費：3,000円 定員：70名 ゲスト：勝俣州和さん

お問い合わせ・お申込み：萩市企画政策課 Tel：0838-25-3102 ※詳しくは「萩食談」で検索！

お菓子なジオパークめぐり

桜島は、60万人都市の目の前で今もなお活発に噴煙を上げる活火山。鹿児島は、活火山と都市が共生する世界的にも珍しい場所です。桜島は約2万6千年前から何度も噴火と山体の崩壊を繰り返してきました。崩れた岩や砂が堆積した扇状地は水はけが良く、海に囲まれた温暖な気候も相まって、柑橘類の栽培に適しています。桜島小みかんは、そんな桜島で育てられる直径5cm足らずの小さなみかんです。桜島小みかんグラッセには、火山噴火の歴史と、噴火にもめげずに栽培を続けてきた人々の努力が詰まっています。

桜島小みかんグラッセ （桜島・錦江湾ジオパーク）



10月の予定

○第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳大会 10月6日（日）～8日（月・祝）

会場：アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク（北海道様似町）内容：開会式で日本ジオパーク認定証の授与が行われ、ポスターセッション、分科会、シンポジウムなどに参加 主催：日本ジオパークネットワーク 問合せ：萩ジオパーク

構想推進協議会事務局（萩市ジオパーク推進課）（0838-21-7765）

○第20回そばの花まつり 10月7日（日）9：30～15：00 会場：弥富グラウンド（旧弥富中学校）内容：10割蕎麦（400円）のほか、各種物産販売、弥富の大地の成り立ちを太鼓で表現した弥富龍神太鼓演奏など 主催：弥富むらおこし会 問合せ：弥富公民館（08387-8-2044）

●萩ジオカフェ 10月18日（木）18：30～20：00 会場：萩・元気食堂、参加費：200円（飲み物は別途）主催：萩ジオパーク構想推進協議会 申込み：前日までに萩市ジオパーク推進課（0838-21-7765） ※全国のジオパークからお菓子のお取り寄せ。次回の相手は未定。

●萩ジオガイド養成講座（第2・3回） 10月20日（土）・21日（日）9：30～16：00 会場：萩・明倫学舎、笠山 内容：「感動が伝わる」ガイド技術の習得 講師：菊間彰（一般社団法人をかしや代表理事）参加費：無料 定員：40名 申込期限：10月17日（水）主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：事務局（萩市ジオパーク推進課）（0838-21-7765）

●geoとも（萩ジオ友の会）定例会「ジオ探訪」 10月27日（土）10：00～16：00 集合場所：大井公民館 内容：阿武火山群の火山3つに囲まれた大井地区を探訪 参加費：100円 主催：geoとも 申込期限：10/25（木） 問合せ：萩市ジオパーク推進課（0838-21-7765）

●平蔵台で育った野菜は何故おいしいの？ 11月2日（金）10：00～16：00（小雨決行） 集合場所：福栄夢る一らる雲海 内容：火山が作った平蔵台で育ったサツマイモを収穫・調理・試食し、geoとも会員の案内で萩の大地の骨組みである半田台を探訪 参加費：1000円（保険料、昼食、お土産代） 定員：15名（先着順）主催：萩のジオパークってなんじゃろう会 問合せ：萩ジオパーク構想推進協議会（萩市ジオパーク推進課）（0838-21-7765）

※●の行事に参加される場合は、必ず萩ジオパーク事務局（0838-21-7765）までご連絡ください。